

2014 年 8 月 7 日
報道関係各位

!DC 大塚家具と ICS カレッジオブアーツ、産学連携プロジェクトを実施 テーマは『おうちカフェ』と『ひとり暮らしの部屋』 —新発想の空間デザインへの挑戦—

株式会社 大塚家具
学校法人 環境造形学園 専門学校 ICS カレッジオブアーツ

総合インテリア販売の株式会社 大塚家具（本社：東京都江東区、代表取締役会長兼社長 大塚勝久、以下、大塚家具と表記）と学校法人 環境造形学園 ICS カレッジオブアーツ（所在地：東京都目黒区、学長 關昭太郎、以下 ICS と表記）では、今春から開始した産学連携プロジェクトで選ばれた 3 案を !DC 大塚家具・新宿ショールームにて 8 月 8 日（金）～24 日（日）まで展示することになりました。

『おうちカフェ』と『ひとり暮らしの部屋』をテーマに、ICS の学生と教員、そして社会の第一線でプロとして活躍する大塚家具のスタッフの三者が連携し、新しい顧客に向けて既成概念にとらわれない新発想の空間デザインを創りあげました。

【産学連携プロジェクトの内容】

このプロジェクトは、ICS のデコレーション科の学生 29 名が 1 年生の時から学んでいる「スタイル実習」という授業の集大成に位置づけられるものです。

2、3 名ずつのグループに分かれ、与えられたテーマを軸に大塚家具の企業コンセプト、顧客ターゲット、周辺のリサーチを意識し、新たな顧客にアピールできる !DC 大塚家具・新宿ショールームのディスプレイを企画・作成します。

4 月 14 日（月）より課題の制作に入り、5 月 26 日（月）に大塚家具の担当者を招いて各グループの制作プレゼンテーションの講評会を行いました。その中から見事 3 案（「おうちカフェ」2 案、「ひとり暮らしの部屋」1 案）が選ばれ、!DC 大塚家具・新宿ショールームでの展示のチャンスを勝ち取りました。

■ ICS の教育理念と産学連携プロジェクト

ICS は、日本で唯一のインテリアデザイン専門学校として 1963 年に誕生し、以来、世界で通用するインテリアデザイナーやインテリアデコレーター（インテリアコーディネーター）などのスペシャリストを多数輩出してまいりました。「新しいものをつくるひと」を世界に羽ばたかせることを理念に、デザインに携わる人として最も重要な「創造力」を育むため、学生と教員、学生と学生など、仲間同士が共に刺激し合い育ていく「共育」ということを強く意識し、そのためのカリキュラムや制度を実施。その一つが、産学連携プロジェクトです。これまで様々な企業とのコラボレーションを実現し、学生らが教員や企業スタッフと刺激を与え合い、デザインすることへのモチベーションを高める機会を多数設けてまいりました。

■ 大塚家具と産学連携プロジェクト実現の背景

!DC 大塚家具・新宿ショールームの前店長・上野一郎が過去に二度ほど講義を ICS で行ったことがきっかけとなります。

これまでの常識にとらわれない新しい視点を追求し続ける大塚家具は、この産学連携プロジェクトから、若い世代の視点で創られる、新しいディスプレイプランによる顧客へのプロモーション効果を期待するとともに、若い世代の育成に対する ICS の教育理念や産学連携プロジェクトにおける想いに賛同し、今回のプロジェクトが実現することになりました。

コメント ～産学連携プロジェクトにあたって～

ICS 教育運営室 教員 細川 万紀子（ホソカワ・マキコ）

今回の産学連携プロジェクトは、学生・教員・企業の三者が一丸となって実現しました。カリキュラムも、インテリアコーディネーション・色彩・CAD をボーダーレスに課題に取り入れ、スキルの統合をめざしました。大塚家具様からいただいた「新たな顧客層にアピールするディスプレイ」のテーマを、学生たちは、実現することを考慮しながらも、かなり型破りなデザインに展開できたと感じています。

ICS の課題は、学生全員がそれぞれの作品を講評会でプレゼンテーションしますが、今回の講評会では、大塚家具様から新宿ショールームの店長をはじめ各部署より 4 人もの方々に講評していただきました。立場の異なる方々からのご意見、その後のディスプレイ実現のための打ち合わせ、さらに実際のセッティングなど、自分のデザインが実現していく一連の流れを学生たちが体感できるのは、産学連携ならではの醍醐味です。このような機会をいただきましたことを、学生、教員ともに感謝しています。

■ 株式会社大塚家具

IDC大塚家具は、1969年の創業以来、総合インテリア企業として「お客様により豊かな住空間を提供すること」を使命に歩み続けてきました。商品・価格・サービス全般にわたる独自のシステムを構築し、「すべてのお客様に世界中の優れた商品をリーズナブルな価格で、トータルインテリアの考えに基づく専門家の適切なアドバイスのもとでお求めいただく」というインテリア商品販売の理想的なスタイルを確立しています。ひとりでも多くのお客様に最高の満足を楽しんでいただくため、品質とデザインを追求した商品の開発、快適な住まいづくりの提案力を高めるための専門家の育成、ショールーム機能の拡充にさらに努めています。

展示店舗概要

IDC大塚家具 新宿ショールーム

所在地 : 東京都新宿区新宿3-33-1

連絡先 : 03-5379-4321 営業時間: 10:30~20:00

web : <http://www.idc-otsuka.jp/showroom/shinjuku/>

■ 学校法人 環境造形学園 専門学校 ICS カレッジオブアーツ

ICS カレッジオブアーツは、日本で唯一のインテリアデザイン専門学校として 1963 年に創設されたスペシャリスト養成機関です。同校では「21 世紀のデザイン教育」の視点から産業界との関係を緊密にした産学連携教育の推進、世界の一流クリエイターとの相互交流、英国国立ノッティンガムトレント大学との学位提携など、国際化と情報ネットワークを機軸にすえた新しい教育システムを構築しています。

設立: 1963 年 12 月

所在地: 〒152-0022 東京都目黒区柿の木坂 1-5-6

理事長: 日野洋一、学長: 關昭太郎、副学長: マニユエル・タルディッツ

学科・コース: インテリアデザイン科、
インテリアデコレーション科、インテリアマイスター科、
インテリアデザイン科Ⅱ部

インテリアプロ士曜日 1 年間コース、

インテリアコーディネーター土曜日 1 年間コース

TEL: 03-5701-2211

e-mail: info-1@ics.ac.jp web: <http://www.ics.ac.jp/>

■ 参考資料

大塚家具、ICS 産学連携プロジェクト 新宿ショールーム展示 3 案

- 『おうちカフェ』① : 「本とご飯と時々、彼。」
20〜30 代カップルのためのコーディネーション。若いカップル 2 人暮らしの新しいスタイルを提案。

[グループ NO.6]

佐々木 汐里 (ササキ・シオリ / Sasaki Shiori / 女性 / 20 歳)

手塚 仁美 (テツカ・ヒトミ / Tetsuka Hitomi / 女性 / 19 歳)

◎作品のアピールポイント

大塚家具の中でも、若者が手を出せる商品を選んで、さらに自分たちで家具に手をかけることによって親しみやすさが生まれ、大塚家具の「高級感」をイイ意味で払拭できたと思います。

◎取り組んでみてどうだったか (現時点での感想)

・商品選び、空間構成を考え、若者カップルでも親しみやすいものを作るのは正直言うと大変でした。大塚家具さんには築いて来た歴史とおもむきがあって、それにとらわれずにデザインするのは難しかったけれど、出来上がったものは愛着が湧いてとてもイイ経験になりました。(手塚)

・商品を自分たちで選び空間を作れるというなかなか出来ない経験をさせてもらい、とても良い刺激になりました。作品を造って行く段階で難しい所もありましたが、自分たちの視点だけでなく、お客様の視点での見え方なども学ぶことが出来てとても良い体験が出来ました。(佐々木)



➤ 『おうちカフェ』② :「Vintage Variation」

[グループNO.7]

孫 雨瀟 (ソン・ウショウ/Sun Yuxiao/女性/22 歳/中国)

田中 栄里 (タナカ・エリ/Tanaka Eri/女性/21 歳)

廣田 なつみ (ヒロタ・ナツミ/Hirota Natsumi/女性/21 歳)

◎作品のアピールポイント

大塚家具には今まで無かった新しい発想

◎取り組んでみてどうだったか（現時点での感想）

- ・カラー重視のディスプレイだったので、色合いが決まらず難しかった（廣田）
- ・家具を実際に配置してみると、家具とのバランスを取るのが大変だった（田中）
- ・想像と現実はかなり違ったので、今回の経験はとても勉強になった（孫）



- 『ひとり暮らしの部屋』 : 「Duo から始まる一人暮らし生活。2in1」
大学生から、社会人2～3年目で、一人暮らしをはじめる人がターゲット。既成概念にとらわれない、一人暮らしの提案。

[グループNO.11]

福岡 有紀（フクオカ・ユウキ／Fukuoka Yuuki／女性／26 歳）
プシキナ・ユーリア（Pushkina Yuliya／女性／30 歳／ウクライナ）
毛 玉潔（モウ・ギョクケツ／Mao Yu Jie／女性／26 歳／中国）

◎作品のアピールポイント

- ①Duo ソファの最大の魅力である万能性を生かすため、ソファを中心にあえて部屋を正反對の2種類のテイストにコーディネートしているところ。（テラスからの見え方を含む）
- ②カウチソファの使い方の新しい提案をしているところ
- ③ひとり暮らしの部屋を忠実に再現するため、テラスを設けているところ

◎取り組んでみてどうだったか（現時点での感想）

・自分のデザインを実際に形にする際に、必ず出てくる予算や作り方の問題が改めて大切だと実感することができました。また、実店舗での展示というわくわく感は、普通の課題ではなかなか味わえないものなので、とても嬉しいです。（福岡）

・実際にディスプレイを作るのがとても良い体験になりました。学校で習っていない細かいニュアンスを知り、頭の中にあるイメージを実現出来る良い経験になりました。1日デザイナーになれてとても楽しかったです。（プシキナ）

